同友ぐんま

同友会の活動はこちらのQRコードからご覧いただけます。▶

2021年 1月号

発行/群馬中小企業家同友会　〒371-0013　前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F　TEL 027-232-0001　FAX 027-232-0666　E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

県を越えて学び合う 岐阜・中濃可児支部合同例会

前橋支部11月例会

前橋支部では十一月二十六日（木）、岐阜同友会、中濃可児支部と合同でZOOM例会を開催しました。いまだ終息が見えないコロナ禍において、オンライン会議システムを取り入れた例会が一つのスタイルになりつつあります。今回はそのメリットを活かし、物理的な距離を飛び越えて他県の会員と交流しようと企画されました。

群馬同友会の経営指針をつくる会に岐阜から連続参加中の、主に電子部品組立を行う㈱久田見製作所、取締役・岡田稔氏（岐阜同友会、中濃可児支部長）が報告者を務め「経営の見える化～論語とソロバンの両輪」と題して、経営指針書の重要性と経営実践を報告しました。

岡田氏は、東京・岐阜・群馬の、三同友会の経営指針をつくる会（成文化セミナー）を受講しており「東京で理念の大切さ、岐阜で論語が思念の礎であること、群馬でソロバンとの両輪でなければ実践に至らないと気付いた」と、それぞれの学びと特徴を端的に語りました。経営実践では、経営指針の学びに基づいて、同社の損益計算書・貸借対照表をもとに、経営状況の分析。同業優良他社の数字と比較した目標数字の設定と目標達成に向けた計画づくり。社内での取組み事例を紹介しました。

報告後は「あなた（社長）の仕事はなんですか?」とのテーマでグループ討論。両県の会員が活発に意見交換を行いました。

岡田氏は例会の総括として「理念と利益が合致する舵取りが社長の大事な仕事」とまとめ、群馬のつくる会について「東京・岐阜に比べて理念の深堀が弱い。財務の強さに理念の厚みが加わればさらに良い会になる」と複数県で活動したからこそのアドバイスを送りました。

わたし、八百屋になります

太田支部 11月例会

太田支部では、十一月十九日（木）、テクノプラザおおたを会場に「わたし、八百屋になります～〝売る〟ことよりも〝売れる〟こと、半導体製造業からの新しい挑戦～」と題して、制御盤の設計製造、半導体材料の加工、野菜栽培装置の開発販売を行う㈱成電工業、代表取締役・瀧澤啓氏（高崎支部）が、異業種への挑戦を軸に経営体験を報告しました。

リーマンショックによる売上激減から〝何もしないリスク〟より〝新規事業に挑戦するリスク〟を選び、野菜工場への挑戦を決意した瀧澤氏。同社の技術を活かした野菜工場プラントは三十五件以上の納入に加え、同プラントを活用した障害者福祉施設開所にも繋がり、工業から農業、そして福祉事業へと繋がりました。瀧澤氏は一連の流れを振り返り「計画の段階でゴールを固定化するのではなく、ボールを蹴った先にゴールを設定すればいい。修正しながら進めていく事が新規事業の進め方だとおもう」と自身の考えを語りました。

参加者アンケートには「業種は違っても〝経営〟という括りは同じ」「ゴールを決めず、ボールが転がった先にゴールを創るという発想に感銘を受けた」といった感想が綴られていました。

コロナ時代の障がい者雇用

富岡安中支部11月例会

十一月二十六日（木）の富岡安中支部例会は、「コロナ時代の障がい者雇用～波瀾万丈の人生が生みだした人への優しさ」と題し、障害者雇用委員長をつとめるユリアの本多代表（伊勢崎支部）を報告者に迎えました。

本多氏は、以前勤めていた会社でA型事業所を立ち上げる計画が浮上すると、突然責任者に指名されました。障害者のことも福祉事業のことも経営のこともわかっていないところからの出発でした。

右往左往しながらも約三ヶ月で市内第一号として認定されると、利用者はどんどん増え、順調に推移していくようにみえました。

しかし、ピンチはすぐに訪れました。「当時は助成金頼み、人任せの経営だった」と振り返る本多氏ですが、あの手この手と試みるも赤字は拡大する一方で、自己破産すらも覚悟したと言います。

「すべては自分の責任」と、崖っぷちで経営再建に舵を切った本多氏は、障害者そして福祉と真摯に向き合い、「支援とは働く喜びを一緒に探すこと」という考えに行き着きました。そして利用者一人ひとりのニーズに沿った仕事を受注することに専念していくと、障害者も経営も良い方向へと転がりはじめました…。

終始飾らない赤裸々な報告は、「障害者雇用のハードルが下がった」「経営者にとって大切なことに気づかせてもらった」などの感想が述べられていました。

続・未来を紡ぐ後継者として

桐生支部11月例会

十一月二十日（金）、桐生市職業訓練センターを会場に「桐生支部十一月例会」を開催。東毛地域における新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、ほとんどの参加者がZoomに切り替えての参加となりました。報告者は工業用刺繍糸・縫製糸など販売の㈲平野商店、専務取締役・平野正敏氏（桐生支部）。「続・未来を紡ぐ後継者として～時代の変化に適応した会社をつくる～」をテーマに自身の経営体験を語りました。

バブル崩壊から現在に至る繊維業界の厳しい状況の説明に続き、六年前に報告した自社の問題点の解決に向けた取り組み、三年前の専務就任以降の変化、コロナ禍の影響などを率直に語った平野氏。老舗大手アパレルメーカーが今年五月に倒産した原因を踏まえ、BtoCの販路開拓や社員教育などを通して「時代の変化に対応した強い会社になる」と力強く宣言しました。

報告後は「社長（経営者）の仕事とは何か？」をテーマにグループ討論を実施。「自ら変化を起こし、常に世の中から必要とされる会社にする」「進む方向を決め、決めた方向に全力で進むこと」など、活発な意見が交わされました。

上から埋めていく世代間ギャップ

高崎支部11月例会

十一月十六日（月）、ビエント高崎（ZOOM併用）を会場に「高崎支部十一月例会」を開催。テーマは「上から埋めていく世代間ギャップ～今どきの『ワカイモン』が『カセギガシラ』になる攻略法～」。NPO法人DNA、代表理事・沼田翔二朗氏を講師に招き、若者世代への有効なアプローチ方法や人口減少期に中小企業が向かうべき方向性などを学びました。

沼田氏は、ボーナス期からオーナス期へと日本の人口構造が大転換したなかで「マネジメントの仕方は全く異なる。同質性の高い組織ではなく、多様性の高い組織によって成果をあげることが大切」と指摘。若者とのギャップを活かし、カセギを生み出すためのポイントとして「関係の質を上げる」「気づき・考えを受け取る」「非金銭的な報酬をマネジメントする」の視点から丁寧に解説しました。

参加者アンケートには「会社の当たり前をぶち破る力があるのは若い社員の力」「若者世代が働きやすい会社は上の世代も働きやすい」「社員一人ひとりと関係の質を高める必要性を痛感」などの感想が綴られていました。

守り繋げる使命に気付く時

沼田支部11月例会

沼田支部では、十一月二十五日（水）、司鮨（山田国大氏）を会場に支部例会を開催。県産材にこだわり、伝統構法を用いた住宅、店舗などの新築・リフォームを行う工舎澄み処、山口長士郎氏が「守り繋げる使命に気付く時…」と題して、自身の歩みと伝統建築への想いを報告しました。

「戦後の住宅産業は、価格や品質の安定、より安く早くを命題に新たな品質基準を作りこむことで市場を塗り替えてきた」とデータを基に分析する山口氏。破壊的な技術革新による職人減少や後継問題に不安を覚えつつも、顧客ニーズと伝統建築の乖離感を埋めるための数々の取り組みを紹介しました。

「自然素材と技術力」と定義した自社の強みが活きる住宅端材を伝統構法で組む「トイカメラ」や木々の葉から抽出する「アロマ」など、建築に拘らない独自の発想と考えを披露しました。

参加者アンケートには「自社を客観的に分析し行動する。簡単なようで難しい！」「伝統をしっかり受け継ぎ、新たな視点をプラスできる実行力」といった感想が綴られていました。

部品加工の　株式会社 マテハン
同友会の製造業と連携して
北関東機械加工センターを目指します。
ホームページで仕事の受注が出来ました。
好評「部品加工のマテハン」
URL:http://www.kk-matehan.co.jp/
E-mail:mth@kk-matehan.co.jp
従業員数　12名
代表取締役　島山　淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL　0276(37)4571
FAX　0276(37)4562

今お使いの会計ソフトを
「未来を見る経営羅針盤」へ進化させる!!
クラウド予算実績管理ツール
YOJiTSU®
https://yojitsu.net/
同友会 高崎支部会員　株式会社シスプラ　0120-638-377

糖度10のトマト「SWEET10」が好評です
ぐんまの農業を元気に！
三光ファーム
Sanko Farm
代表取締役　廣瀬光昭

軽量鉄骨システム建築 プレハブハウス
用途に合わせ自由設計、コスト削減（事務所、店舗、倉庫、他）
プレハブパネル工法は規格部材を工場生産　経済性に優れ、短工期
株式会社 三栄工業
〒378-0002 群馬県沼田市横塚町 896－2
TEL. 0278－20－1110　FAX. 0278－22－2102
URL http://kk-sanei.net/

観光業界のいま

渋川吾妻支部11月例会

十一月十六日（月）開催の渋川吾妻支部例会は「観光業界のいま」と題して、同支部所属の㈱群馬サイクルスポーツセンター会長の石田氏とローランド観光バス㈱社長の蜂巣氏の二人が報告しました。

それぞれに地元の観光客の推移データの紹介や、コロナ禍での自社の状況などを率直に報告。宿泊客は思ったより回復していないことや、特にバス業界は苦境に立たされていることをあらためて認識しました。

グループ討論では、厳しい状況をどう切り抜けたらよいか、他業種の違った視点からアドバイスし合いました。

参加者からは「すべてを自社に置き換えて考えてみた。今こそ進化のときと思う」「コロナ禍でも芯がぶれないのは素晴らしい。今こそ理念経営に徹したい」「考え直す良いきっかけとなった」などの感想が述べられていました。

地域の未来・自社の未来を考える

伊勢崎支部11月例会

十一月十七日（火）、プラザ・アリアを会場に「伊勢崎支部十一月例会」を開催。伊勢崎市議会議員・須永さとし氏による「伊勢崎市の課題とこれから」の問題提起をもとに、地域の未来・自社の未来を考える機会としました。

須永氏は自戒の念を込めて市議会の現状や課題、その存在意義について持論を展開。「首長提案の追認機関になっている」「とりあえずのやっています感が顕著」「覚悟を持った議会改革が急務」など、厳しい言葉を交えて語りました。その後、外国籍住民との共生・交流人口の拡大・交通弱者対策・官民連携など、市が抱える課題を自身の提案を交えながら説明しました。

講演終了後は「地域の未来・自社の未来を考える」をテーマにグループ討論を実施。討論内容の発表では、各グループから具体的な市への要望や提案などが出され、その内容は些細な改善から大きな事案まで多岐にわたりました。

参加者アンケートには「地元で事業を営む経営者にとって有意義な企画だった」「定期的に企業・行政・議会が集まって議論する場がつくれると良い」などの感想・意見が綴られていました。

限りある資源を、次世代へ
株式会社 エスティビー
Stability Topline Business Co.,Ltd.
Zero Emission
産業廃棄物収集運搬
産業廃棄物リサイクルの提案
一般貨物自動車運送
塗装プラント清掃
〒379-2123
前橋市山王町1−19−14
TEL 027-212-3312
FAX 027-266-8288
http://www.s-t-b.jp

アルミ精密部品の切削加工メーカー
株式会社 エーピーエム
充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！
〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058　FAX0276-30-4059
URL：http://www.apm-f.com　E-mail：fuse@apm-f.com

環境を思う、未来を想う
あらためて誓う
上武印刷
優れた環境適応性。
より高精細で美しい仕上がり
「水なし印刷」システム
「水なし印刷」は、湿し水を使用せず有害な廃液を0にし、その結果CO_2を削減します。環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。
ムダな廃棄物を出さない。
必要な時に必要な部数を
オンデマンド印刷
オンデマンド印刷は、「必要な時、必要なだけ」の印刷でムダがなく、環境面で優れています。また、印刷コストを抑え、納期も短縮できます。
私たちは、環境にも、お客様にもやさしい企業を目指します。
群馬県環境GS認定事業所
上武印刷株式会社
〒370-0015 高崎市島野町890-25
TEL 027(352)7445(代)　E-mail eigyo@jp-t.co.jp
FAX 027(352)2953(営業)　URL http://www.jp-t.co.jp/
Waterless Printing. Naturally
FSC FSC® C117651
16190178(06)

会員企業紹介
わが社の
イチオシ

エンジニア・経営者向けコワーキングスペース corspace.（コルスペース）オープン

㈱ジョイントループス

代表取締役　**尾串 理江** 氏（高崎支部所属）

Q&A

▼会社紹介

弊社は二〇一一年四月、高崎市にて広告代理業とシステム開発事業の会社として創業しました。「デザインだけでなく、コンサルタントからシステム開発まで〝広報・集客・業務効率化〟に関しての様々なお手伝い」を基本に事業を営んでおります。お客様の求める目標がどこにあり、達成するためにどんなツールが必要なのか、どのような表現で伝える事が適しているのかを提案し提供する、そして効果の算定を行いながらお客様と共に成長し歩んでおります。前述した業務がワンストップで行えるだけでなく、問題点や改善点の抽出、解決法の提供が可能であるという部分においても差別化を図っております。

▼イチオシ

エンジニアと経営者向けのコワーキングスペース「corspace.（コルスペース）」を高崎市浜尻町にオープンいたしました。名称には優秀な人や考え・アイデアなどが集まってくる場所、ワクワクから素晴らしいものが生み出される場所になりますようにとの願いが込められています。

ご利用は完全会員登録制。事前に会員登録をしていただいた方のみ入室できるセキュリティーを施しており、安心して作業に集中していただけるスペースをご提供しております。なお、集中するだけでなくリラックスもできるよう店内にはたくさんの観葉植物やソファもご用意しております。貸し会議室（六～八名利用）は事前予約でご利用いただけます（二〇二一年よりWEB予約可能）。営業時間は午前九時～午後十一時（現在ランダム営業）。料金はベーシックプラン六千円／月～。

▼経緯

以前より、スタッフに広いスペースでのびのびと働いて欲しいと考えておりましたが、固定費が増えるのを理由に移転を見送っておりました。しかし、利益を生み出さない事務所という概念から、利益を生み出す事業所なら良いのではないか?と発想を転換し、一階をコワーキングスペースに、その二階を事務所にすることで固定費がかさむ不安を払拭しました。さらに、自社開発製品「eSwitch.（イースイッチ）」のテストのため、リアル店舗を運営する必要があると考えたことも取り組むきっかけとなりました。

▼課題

まだ不備がある部分も多く、会員登録の仕組みも万全ではないため、サービスをスムーズに提供できるよう整備する必要があると考えております。また、店舗運営が初めてのため、毎日新しい発見がありますが、その気づきを素早く改善につなげていく対応力の強化も必要だと感じております。

▼展望

これからも一人でも多くの人を幸せにする社会を実現するために、デザインやシステム開発の受注業務だけでなく、自社開発製品である「eSwitch.」やコワーキングスペースの「corspace.」が多くの方に喜ばれ、さらには現在開発中の「FUCUSS(フーカス)」によって人類各々の個性が世の中で生かされている状態を生み出したいと考えております。

corspace.の店舗情報
（eSwitch. QRコード）

所在地／高崎市浜尻町593－1
連絡先／TEL027－384－2801
URL／https://jointloops.com

会員たんしん

同友会のホームページで会員検索できます。

【買い物難民を支援】

㈱サンモール

高齢者をはじめとする買い物難民を支援するため、利根沼田地域でスーパーを展開する㈱サンモール（取締役常務・藤野晃嗣氏／沼田支部所属）は25日、移動スーパー事業を開業し、桜町店で出発式を行った。大矢社長は「地域のインフラとして喜ばれる存在にしたい」とあいさつした。連携する移動販売事業の「とくし丸」（徳島市）の新宮歩社長は「買い物難民が多いこの地域で、さらに台数を増やすなどサポートしたい」と話した。日用品や生鮮品など1200点をそろえ、月～金曜の５日間、約160軒を訪問する。サンモールは併せて、沼田市と見守り協定も締結した。［11/26付上毛］

【上州地鶏のサンド、ハム】

㈱大和屋

本県のブランド鶏「上州地鶏」の認知度向上に向け、県庁32階のカフェ「ヤマトヤコーヒー32」（㈱大和屋、取締役会長・平湯正信氏／高崎支部所属）は27日、県と考案したサンドと鶏ハムの２品を発売する。上州地鶏の特徴であるうま味と健康機能成分を残すため、手間のかかる低温で調理。２カ月間の限定販売とする予定。昼メニューの「上州地鶏のグリルとカリーノケールのクロワッサンド」（税込み860円）は、表面を香ばしく焼いた上州地鶏をクロワッサンで挟んだ。夜メニューの「上州地鶏の鶏ハム」（税込み880円）はしっとりした食感で、酒類との相性が良いという。県の「Ｇ－アナライズ＆PRチーム」による分析で、上州地鶏は疲労感の軽減に役立つとされるアンセリンなどが豊富であることが判明。おいしさと栄養面をPRしようと、県と同カフェがメニューを開発した。営業時間は午前９時～午後９時。閉庁日を除き年中無休。［11/27付上毛］

【おもてなしセレクション】

㈱エーアンドブイ企画

日本の優れた商品やサービスを発掘、認定して国内外に発信する「おもてなしセレクション」は１日、㈱エーアンドブイ企画（代表取締役会長・林きみ代氏／前橋支部所属）の「福豚ジャーキー」など受賞商品88点を発表した。おもてなしセレクションは国内外に日本の商品、サービスの素晴らしさを知ってもらうために実行委が主催しており、６年目。書類審査や外国人と日本人専門家による審査を経て、金賞23点、特別賞６点、受賞59点が選ばれた。受賞商品は百貨店や電子取引（EC）サイトでの販売、メディアへの広報、販売促進で支援を受けられる。「福豚ジャーキー」は、ほのかなスモーク薫が特徴で、かむほどに肉のうま味が広がる。１パック602円（税別）。［12/２付上毛］

【事務所移転】

㈱ジョイントループス、代表取締役・尾串理江氏（高崎支部所属）は、この度、下記の通り事務所を移転しました。
〒370-0005　高崎市浜尻町593-1

第8回 理事会報告

日時　十二月一日（火）
※今回も同友会事務所とウェブを併用したハイブリッド開催となりました。

出席者（順不同・敬称略）
正副代表理事／山岸、澤浦、田村、提箸、町田、**常任理事**／戸塚、吉池、布施、増田、佐藤、阿久戸、星野、佐藤、**理事**／小林、杉﨑、古澤、高屋敷、齋藤、阿久戸、神保、小鮒、関口、**事務局**／黒岩、阿久澤、竹内（役員計二十二名）

【議　事】

富岡安中支部の関口氏が議長をつとめ、田村代表理事挨拶のもと、第八回理事会開会。

Ⅰ．報告連絡事項

1．各支部・部会・委員会等の案内報告

各組織担当者より、案内報告等がありました。

2．その他

①女性経営者全国交流会ｆｒｏｍ新潟の参加者それぞれより、感想や学びについて報告がありました。
②県の警戒度が３へ引き上げられたことなどが確認されました。

Ⅱ．審議・承認事項

1．青年経営者全国交流会の報告者推薦について

布施青年部会長より、次回青年経営者全国交流会の分科会報告者として高崎支部の山崎氏を推薦したい旨提案があり、これを承認しました。

2．新年度の理事候補者信任について

各支部等から推薦された新年度の理事候補者について、現時点での推薦名簿を理事会として信任しました。

3．入退会者承認と仲間づくり推進について

前回理事会以降の退会者三名を承認。会員数は五二八名となりました。

あわせて、退会者は例年並みであるものの、入会者が前年の半分であることが報告され、知り合いの経営者への声掛けが全体に依頼されました。

Ⅲ．意見交換・その他

1．意見交換

重点方針のひとつ「支部・部会・委員会の活動を理解し、交流と連携をすすめる」ために、今回は「共育部会」について、吉池部会長から活動趣旨説明を受けてグループ討論を行いました。

2．第九回理事会の開催確認

次回理事会を左記の通り開催することを確認しました。
■日時／一月十二日（火）
■会場／同友会事務所
＋ウェブ（併用）